



～認め合い 進んで学び合う 普賢寺っ子～



## 本当の「思いやり」って？

教務主任 中村 未佳

人権とは、みんなが生まれつき持っている、自分らしく幸せに生きるための大切な権利のことです。普賢寺小学校では、各クラスで「人権スローガン」を考え、5月の全校朝礼で発表しました。その中には、「やさしさ」や「思いやり」という言葉がたくさんありました。「思いやり」の語源は、「思い」をそちら(相手)に「遣る(あげる)」からきています。つまり、「相手のことを思い気遣う気持ちがきっかけで生まれた行動」のことをさしています。

以前、NHKの「バリバラ」(みんなのためのバリアフリー・バラエティー)という番組の中で、こんなドッキリ企画がありました。ターゲットとなったのは、芸人の小島よしおさんです。彼に仕掛けられたのは、喫茶店を訪れた時、「隻腕(片腕のない状態の方)が店員さんだったら」というものでした。このドッキリが放送された当時、彼の対応は多くの人から賞賛を浴びました。さて、小島よしおさんはどんな対応をしたのでしょうか？

- ① 店員さんのことをジロジロと見つめた。
- ② 店員さんが渡す前にお盆から自分で飲み物を取った。
- ③ 店員さんを手伝わずに見守った。

彼のとった行動は③の「店員さんを手伝わずに見守った。」でした。なぜ、彼は「見守る」ことを選択したのでしょうか。ドッキリの後のインタビューの中で小島さんは、「キツそうだったら手伝いますけど、普通にやってるのに手伝うのは逆に違うかな。」と話していました。逆にドッキリの中で店員さん役をした女性は、「勝手に手伝われるのが一番嫌です。できるのになって。」と話していました。もちろん「手伝おう」という気持ちはその人の善意だと思います。でも、できることを心配されることで悲しい気持ちになる人もいるということに気づけることが、本当の思いやりなのではないかと思います。あえて「しない」ことも思いやりなのかもしれません。子ども達にとってはまだ難しいと思いますが、「障害があるからできない。」「障害のある人だから手伝う。」ではなく、相手が誰であっても、その気持ちを深く読み取って、本当にその人が望んでいる行動がとれる人に育って欲しいと思います。そのためにはまず、子ども達を育む私たち大人が、その人権感覚を磨いていくことが大切だと思います。

「思いやりのある行動ってどんなこと？」子ども達に尋ねると、たいてい「困っている人をたすけること。」と返ってきます。もちろん間違いではありません。でもそれは、もっと身近にあふれているものだと思うのです。例えば、教室の中であれば、日直さんや発表している人など、話をしている人の方を向いて聞くこと。ものを渡すときには相手の方に向けること。受け取った人は「ありがとう」と言えること……。当たり前の行動の中にも「思いやり」があふれています。

私たち大人は、まずは自分たちが「当たり前の思いやり」を実践しながら、子ども達が気づいていない「小さな思いやり」こそ見逃さず、たくさん見つけて、「すてきだね。」「やさしいね。」「ありがとう。」と、伝えたいものです。

令和7年度 12月 行事予定		授 業 時 間					
日 曜	学校行事	1	2	3	4	5	6
1 月	ALT 人権週間(～12/9) 車イス体験(4年)	5	5	6	6	6	6
2 火	にこにこ米販売(5年)	5	5	6	6	6	6
3 水	NMday 学校保健会	5	5	5	5	5	5
4 木	居住地校交流(おおぞら) タブレット入れ替え(1～5年)	5	5	5	6	6	6
5 金	NMday	5	5	5	5	5	5
6 土							
7 日							
8 月	ALT 教育相談日	5	5	6	6	6	6
9 火	一休寺見学(4年)	5	5	6	6	6	6
10 水		5	5	5	5	5	5
11 木		5	5	5	6	6	6
12 金	NMday 普賢寺幼と交流 おもちゃランド(2年)	5	5	5	5	5	5
13 土							
14 日							
15 月	ALT 認知症サポーター(6年)	5	5	6	6	6	6
16 火	昔遊び(1・2年)	5	5	6	6	6	6
17 水	個別懇談会(希望制) 放課後子ども教室	5	5	5	5	5	5
18 木	個別懇談会(希望制) 紙漉き(6年)	5	5	5	5	5	5
19 金	個別懇談会(希望制) 図書ボランティアクリスマス会 点字学習(5年)	5	5	5	5	5	5
20 土							
21 日							
22 月	ALT 教育相談日 給食終了 個別懇談会(希望制)	5	5	5	5	5	5
23 火	短縮4校時 終業式 大そうじ	4	4	4	4	4	4

伊藤  
学  
校  
司  
書

## 12月の生活目標

### 「友だちを大切にしよう」

12月1日から始まる人権週間に合わせて、12月の生活目標は「友だちを大切にしよう」です。一人ひとりが毎日楽しく生活するためには、相手のことを思い、気遣う気持ちが重要です。同じクラス・学校にいる仲間を大切に思い、誰もが「当たり前」の思いやりがでるよう指導していきます。

### 個別懇談会

2学期終わり、12月17日(水)、18日(木)、19日(金)、22日(月)の4日間で個別懇談会(希望制)を実施します。短時間での懇談となりますが、家庭と学校が協力してお子様の成長を後押しできるよう、今学期のお子様の成長や課題などを共有したいと思います。お忙しい中ですがよろしくお願いいたします。

### 福祉学習について

本校では、自分のことだけでなく、周りの人も大切に思い、一人ひとりそれぞれの人の考え方、生き方を尊重し、ともに生きる資質や能力を培うため、各学年に応じた内容で福祉学習を行っています。今年は、3年：アイマスク体験、4年：車イス体験、5年：点字体験、6年：認知症についての学習を行います。

### 学校諸費のお知らせ

12月の学校諸費振替日は、12月5日(金)となります。ご家庭でご準備いただきますようよろしくお願いいたします。

### 勤務時間外の電話対応について

本市では教職員の働き方改革の一環として、勤務時間外の電話対応について音声ガイダンスでの対応となっています。ご理解・ご協力をお願いします。

#### 音声ガイダンスになる時間

平日 6校時授業	朝：午前8時以前 夕方：午後6時以降
上記以外 (5校時の水・金等)	朝：午前8時以前 夕方：午後5時以降
長期休業期間中の平日	朝：午前8時半以前 夕方：午後5時以降
学校の閉校日 (土日含む)	終日



3学期の始業式は、1月7日(水)です。  
短縮4校時で、12:05下校です。



## 校外学習（１・２年）

１１月７日（金）に京都鉄道博物館へ行きました。JR 京都駅で、１人１人自分で切符を買い、電車に乗りました。鉄道博物館の中では、１・２年生合同のグループに分かれて施設の中を見学しました。２年生が１年生に優しく声をかけながら、グループで協力して回ることができました。珍しい電車や新幹線の車両、SL スチーム号の乗車体験と、学校ではできない「本物にふれる体験」をたくさんして、思い出いっぱいの１日になりました。



## 雲上大遠足

１１月２１日（金）に、「雲上大遠足」を実施しました。今年は、京都府立大学文学部歴史学科とタイアップして、普賢寺地域の歴史・史跡について学びました。普賢寺小学校全校児童と普賢寺幼稚園の全園児が「クリエイトコース」「わくわくハンターコース」「タイムスリップコース」の３コースに分かれて活動しました。

それぞれのコースで、事前に活動を計画していたのですが、今年度は児童の安全を最優先し、校外に出ない内容に変更しての実施となりました。教室の中で普賢寺地域の史跡についてのお話を聞いたり、歴史クイズに挑戦したり、水取小学校（昔の普賢寺小学校）を想像して絵に描いたり、学生さんの工夫いっぱいの内容で、楽しみながら学習をすることができました。その後は、みんなでおいしいお弁当とおやつを食べました。午後は、クリエイトコースは水取小学校の仕上げ、ハンターコース・タイムスリップコースは、大学生と一緒に鬼ごっこをしました。子ども達はもちろん、大学生さんも笑顔がたくさんの楽しい時間になりました。

※クリエイトコースで制作した「水取小学校」の絵は、職員玄関に掲示しております。学校にお越しの際は、是非ご覧ください。



## 地域の皆様へ「学校アンケート」回答のお願い

普賢寺小学校では、学校と家庭、地域がさらに連携を深め、教育活動を充実させるべく、今年度も PTCR（保護者・教員・児童・地域の方々）を対象に学校アンケートを実施します。地域の皆様にも回答にご協力いただきたいと考えておりますので、ご協力いただける皆様は、右の二次元コードまたは、下の URL よりご回答ください。１２月１６日（火）１７：００までによりお願いいたします。

なお、保護者の皆様、学校運営協議会（なのはな委員会）の皆様におかれましては、過日配付させていただきましたお知らせ文書よりご回答ください。

<https://forms.office.com/r/ACNszaA6tL>



## ～笑顔と感動 いっぱいの運動会～



## ～子ども達の知的好奇心をはぐくむ「新しい」図書室へ～

### メディアルームコンセプト 『好奇心の森 ワンダー・ラボ』

PTCR の皆さまからいただいたご意見も参考にしながら、「新しい」図書室の構想を考えています。コンセプトは、『好奇心の森 ワンダー・ラボ ～本とデジタルで 未来の「やってみたい」を育む場所』です。このメディアルームは、ただ本を読んだり調べ物をしたりする場所ではありません。子どもたち一人ひとりの「なぜ？」「おもしろそう！」「という好奇心のタネを見つけ、仲間と一緒に水や光を与え、やがては自分だけの「やってみたい！」「という大木に育てていくための「森」であり「実験室（ラボ）」をイメージしています。

今回は、「新しい」図書室であるメディアルームについて、PTCR の皆さんからいただいたご意見をいくつか紹介させていただきます。

- ・クラシックの BGM を流す
- ・話題のニュースをモニターで提示する
- ・流行の本を置く
- ・プロジェクターを設置して映画鑑賞をできるようにする
- ・アロマオイルを焚く
- ・メタバース空間
- ・寝ころべるスペースをつくる
- ・壁や天井の色を明るく
- ・靴を脱いでくつろげるスペース
- ・１人で本が読めるスペース
- ・壁をホワイトボードにして話し合いに使う
- ・観葉植物や水槽を置く
- ・ありがとうを伝えられる「Thank you ボード」
- ・季節の花を飾る
- ・クッションを置く

## ふげんじ日和



学校だよりの新しいコーナーです。毎月ほっとりと読んでいただけたら嬉しいです。

初回は佐々木みゆき（校長）が担当します。

普賢寺小学校に赴任して３年目になります。もともとは中学校の英語の教員でした。地域の方々に「大人向けの英会話教室してー」と言っていただきます。（笑）

田辺中学校に在職していた際に、小中連携で英語の授業に来させていただいていました。１１月のある日の午後、授業を終えて帰る際、普賢寺小学校のグラウンドの色とりどりの紅葉の美しさに息を飲みました。普賢寺小から見る紅葉の景色が大好きです。私自身は精華町に住んでいて、精華大通りの銀杏並木の紅葉もお気に入りです。３歳になるラブドールの女の子サラちゃんと紅葉を見ながら散歩するのが今のマイブームです。